

JFPAは
6Aの
実現を目指
します!

- ① Adolescent 思春期保健の推進
- ② Abortion 人工妊娠中絶の防止
- ③ Access どこでも誰もがサービスを受けられる
- ④ Advocacy 啓発・提言活動
- ⑤ AIDS STI及びHIV/エイズの予防
- ⑥ Aging 高齢社会への対応

リプロダクティブ・ヘルス/ライツ

一般社団法人 日本家族計画協会
リプロ・ヘルス推進事業本部
健康教育推進本部
協力：公益財団法人予防医学事業中央会
〒162-0843 東京都新宿区市谷田町1-10 保健会館新館
電話03(3269)4727 FAX03(3267)2658 http://www.jfpa.or.jp
発行人：北村 邦夫 編集人：櫻田 忠宏 henshu@jfpa.or.jp
毎月1回1日発行 年賃料3000円+税 1部300円+税

家族と健康

健康情報紙

今月のページ

- 本会教材・キッズデザイン賞受賞者
- 子どもの性質に合った適切な関わりを他親子のコミュニケーションとばの発達他
- 職域保健の現場から
- シリーズ遺伝相談(6)
- 海外情報クリップ他
- 産婦人科医による性の健康教育(6)

8面 7面 6面 4~5面 3面 2面



(4~5面) (2面)

トピック

保育施設での事故 国がデータベース化

内閣府ホームページで公表

保育所や幼稚園などの保育施設で、子どもが死亡または大けがをした事故の情報が、6月30日から内閣府のホームページで公開されました。事故に至った事例の情報を共有することで、他施設での事故防止に役立てるのが狙いだ。

報告には、事故発生の場所や時間、子どもたちの年齢・性別、事故の概要、発生の要因分析、自治体のコメントなど、必要な情報が記載されている。国は今年4月から保育施設に対し、死亡または30日以上の治療が必要な負傷・疾病を伴う重篤な事故を、市町

日本産婦人科医会 性教育指導セミナー全国大会(広島)開催

北村・本会理事長、経口妊娠中絶薬の早期導入訴える



医師らによる再現ドラマ
25日に開催された県民公開講座では、本会・避妊教育ネットワーク会員の熱演による再現ドラマ「花火大会でてんこまい」が会場を沸かせた。

(本会家族計画研究センター事務長 杉村由香理)

被爆から今年で70年、平和への願いと深い祈りに包まれた広島市で、7月25~26日、第38回性教育指導セミナー全国大会(日本産婦人科医会主催)が開催され、医師200人を含む422人が参加した。

北村邦夫・本会

会長は、「花火大会でてんこま

い」が会場を沸かせた。

医師らによる再現ドラマ

25日に開催された県民

公開講座では、本会・避

妊教育ネットワーク会員

の熱演による再現ドラマ

「花火大会でてんこま

い」が会場を沸かせた。

医師らによる再現ドラマ

25日に開催された県民

公開講座では、本会・避

妊教育ネットワーク会員

の熱演による再現ドラマ

親子のコミュ

ことばの発達の法則

ことばの発達には、大きく分けて四つの法則がある。一つは、「言語発達は全体発達の反映である」ということ。言語だけ単独で発達するのではなく、体とともにことが運動しながら発達していく。

二つ目は、「言語理解は言語表出に先行する」といって。先ほどの水山の話のように、分かることが先で、言えるのは後だということだ。

三つ目は、「言語発達は、本人の生得的要因(生まれつき)と、周囲の環境との相互作用の中で進展する」ということ。つまり、言語発達が生まれつき遅い子でも、周りの人があと手に関わってあげることによって、少々發

話題の『』

著者の木村順氏は、フリーの作業療法士として障害の重い子の療育から一般の子育て相談など、幅広い仕事をしてこられました。多くの著書がありま

すが、中でも「育てにくい子にはわけがある」(大月書店・2006年)は、感覚統合という切り口から、わゆる「育てにくい子」気に入る子の姿を生き生きと描き出

発達支援実践講座

支援ハ

木村順
著者

学苑社



中川先生のセミナーを、大好評につき大阪でも開催！

7月5日に東京で行われた本セミナーが、大変好評をいただいたため、大阪でも開催することとなりました！「ことばの発達」を心配している親御さんから寄せられる相談に対応するために、「ことばがどうやって育つか」「ことばを育てていくためには何が大切なのか」などの、エッセンスを学んでいただきます。

【日 時】12月20日(日) 10:30~16:00
【会 場】エル・おおさか708号室(大阪市中央区)
【定 員】100人
【受講料(税別)】8,000円
【内 容】ことばが定着するしくみ、発達に合わせた遊びと効果、親から寄せられる相談Q&A
【申込み】2面下段に掲載

ことばを支える相互関係は、望ましい関わりがそれを下支えする。生活リズムが安定して十分な運動ができていくと、脳の働きが好調。よりよく

働く。安心感を与えるよ

うな愛容的な関わり、つまり適切なことば掛けや関わりがあることば、脳もよく働くようになる。

上手に関わり、ことばもよく育っていく。適切な掛けをする上で、分かることば掛けや関わりがあり、読み取りが上手な大人

つていている親？

【2】子どもたちの育ちの異変と学校教育

【3】育てにくい子は困った子？

【4】発達的視点と療

【5】無造作な実践から裏づけのある実践へ

【6】耳の痛い話―専

著者の木村順氏は、その木村氏から実

すべきなのかを、分かりやすく伝えて高い評価を受けています。今回紹介する新刊

は、その木村氏から実

す。

木村順

著者

木村順



総論編⑥
シリーズ

遺伝相談

● 年間500件
年齢は2011年に30歳
で出産年齢は年々上昇し、第1子出産時の平均

「いつか私はこの世にいなくなるけれど、この子たちの中に私が生きていて、私というものが子どもを通して未来につながっていく」
特別養子縁組で母親になつたある女性の言葉が印象的だった。子どもとは何かとの問いに「そのためには自分で産む、産まないにかかわらず、子どもと経験を共有し、気持ちを分かち合ふことが大事なのだ」と続けた。そのときの取材を思い出しながら、親から子へ引き継がれるのは、生物としての遺伝子だけではないのだと、今あらためて考えている。

● 長引く治療
不妊治療は「出口の見えないトンネル」に例え

晩婚・晚産化の影響で不妊に悩むカップルが増えており、だが、子どもを迎えるための選択肢として養子縁組を考える人はまだ少ない。生殖法が増え、いたい不妊治療を始めると治療を終えるのが容易ではないといふことも、原因の一つだ。価値観が多様化したとはいえ、子どもに遺伝的なつながりを求める人が多いことも背景にある。

一方、原則6歳未満の子どもを夫婦が引き取り、晩婚化に伴い、加齢による不妊に悩む人はさらに増えているとみられる。一方、原則6歳未満の子どもを夫婦が引き取り、晩婚化に伴い、加齢による不妊に悩む人はさらに増えているとみられる。一方、原則6歳未満の子どもを夫婦が引き取り、晩婚化に伴い、加齢による不妊に悩む人はさらに増えているとみられる。

● 橋渡し
不妊治療中の女性に「子

提供する不妊治療クリニックでは初診時、夫婦全員に配布す

る。これら二つの取り組み

として設置されています。

(図2)。

相談員は産業医学、人間工学、労働衛生工学、セミナー、労働衛生関係

セミナー、労働衛生関係

セミ

月経血量を抑えるための子宮内避妊システム(IUS)

◆「ククハ・レジマー」の遊び、「I-Uの話題」が発表されました。クラン・レジマーは世界で最も多く医療を推進する国際組織「クラン共同計画」が公表する総説です。著者らは、21報の過多月経患者を対象として評価して、根拠に基づく月経量を減らす臨床効果について見たところ、I-Uの月経口避妊薬やプロゲストーレン経口剤などを評価しました。

海外情報クリップ

前進あるのみ

産婦人科医による性の健康教育～私のキーワードは「これだ！」その6

咲江レディスクリニック（愛知県名古屋市） 丹羽 咲江

より多くの子どもたちに

名古屋市で産婦人科クリニックを2002年に開設して13年経過しました。クリニックを開設して感じたことは、婦人科受診のタイミングが遅く、性に対する正しい知識が乏しいといふことです。



診療の傍らの性教育に限界を感じ映像教材を制作

内容に関する問い合わせなどは、咲江レディスクリニックまで

TEL:052-757-0222 または MAIL:eikas@nifty.com

を自分で決めることが多い

「子どもたちに伝えたい」と思うようにな

り、中学校や高校、大学

での性教育を行うように

なりました。しかし、診

療の傍ら行う性教育には

時間の限界があります。

子どもが、学校に来られ

ミツ」を作成しました。

を題材に話し合つてみ

ります。

今回さとじ「女のから

と心のヒミツ」という

DVDも作成しました。

このDVDを自宅に持

ち帰っていたときパート

ナーとともに見て、内容

について話し合うとい

う。

このDVDを自宅に持

</